

地域包括ケア体制の構築をめざして ～医療と介護の連携とその仕組みづくり～

学術大会長 金子 努(県立広島大学保健福祉学部 人間福祉学科 教授)

療養病床の再編など医療制度改革が推進されるなか、高齢者をはじめとする住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域包括ケア体制の構築が急がれます。この間の診療報酬改定により、一般医療機関の在院日数の短縮化がより一層進むなかで、医療と介護の連携を強化し、円滑に進めていく仕組みの整備が喫緊の課題となっています。

本大会では、地域包括ケア体制の構築をめざして、先進地の取り組みを題材に学び、広島県内の実状と今後の課題を考えていきます。多くの方の参加をお待ちしております。

日時 平成22年 10月23日 土 10:00～16:30

会場 県立広島大学三原キャンパス 1号館1階大講義室
(三原市学園町1-1)

参加費無料
定員200名

対象 どなたでもご参加いただけます

(注)当日、学内の食堂及び売店は営業していません。昼食は各自でご用意ください。

プログラム

■基調講演 10:05～11:50

「松江市における地域包括ケア実践とその課題」

加川 充浩(島根大学法文学部 社会文化学科 准教授)

■研究発表 12:50～13:50

■シンポジウム 14:00～16:20

テーマ「地域包括ケア体制の構築をめざして」

～医療と介護の連携の実際と今後の課題の整理～

◆地域包括支援センターの立場から

元廣 緑(広島市口田地域包括支援センター長)

◆地域連携室の立場から一回復期リハビリテーション病棟の状況を中心として

藤井 真澄(尾道市公立みつぎ総合病院 地域包括医療・ケア連携室 主任社会福祉士補佐)

◆慢性期病院の立場から

小林 裕恵(松江・医療法人財団 公仁会 鹿島病院 医療ソーシャルワーカー)

◆居宅の介護支援専門員の立場から

名越 静香(NPO 法人広島県介護支援専門員協会 副理事長)

<助言者> 加川 充浩(島根大学法文学部 社会文化学科 准教授)

<コーディネーター> 金子 努(学術大会長)

■研究パネル展示会 終日



お申込み・お問合せ先は裏面をご覧ください。

<主催:県立広島大学三原地域連携センター>

●申込方法

下記の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。はがき、メールでのお申込みは下記の内容をご記入の上、送付してください。

●お申込み・お問合せ先

県立広島大学 三原地域連携センター「学術大会」係

〒723-0053 三原市学園町1-1

TEL：0848-60-1120（代表） FAX：0848-60-1134 E-mail：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

●会 場



《参加申込書》 平成 22 年 月 日					
FAX 送信先 県立広島大学 三原地域連携センター「学術大会」係 FAX (0848) 60-1134					
ふりがな 申込者氏名		TEL/ FAX		職種	
ふりがな 申込者氏名		TEL/ FAX		職種	
ふりがな 申込者氏名		TEL/ FAX		職種	
ふりがな 申込者氏名		TEL/ FAX		職種	
ふりがな 申込者氏名		TEL/ FAX		職種	

※ご記入いただいた個人情報は学術大会以外には使用しません。